

京都市京北で働く  
里山ワークスタイル

KEIHOKU  
SATOYAMA  
WORK



発行元／京都市産業観光局産業戦略部産業政策課  
〒604-8571 京都市中京区寺町通都知上る上本町番地448 TEL075-422-0325

企画・制作／京北商工会 一般社団法人 里山デザイン

記事の無断転載を禁じます。掲載した情報は平成30年3月現在のものです。  
この印刷物が不潔になれば印刷紙としてご処分等へ！  
京都府印刷物第291250号 平成30年3月発行



# 京都市京北で働く 里山ワークスタイル

KEIHOKU  
SATOYAMA  
WORK



京都市街地から車で約1時間。ここ京北地域には豊かな自然と、長い歴史に培われた文化が根付いています。そしてこの場所では、季節の流れを感じながら、日々の仕事を営む、多くの人たちが暮らしています。

林業や農業、建築や飲食、宿泊、作家など、多様な人々が、それぞれの役割を果たしながら生活をしているその姿は、里山で暮らすということの知恵を伝えてくれるだけでなく、これからの時代を生きていくための、新しいライフスタイルのヒントにもなるかもしれません。

そんな京北の仕事や暮らしををご紹介します。





# あらい農園

京北の自然が育む無農薬野菜をお届け

## 新井遼さん・愛さん

### 新鮮な野菜をお届け

旬の野菜を無農薬で栽培し、販売しています。肥料と節度と安心にこだわり、お客様には旬のおいしさをお届けしたいと思っています。京都市内や全国に、通常8種類の旬の野菜をそろえる野菜ボックスを中心に、宅配しています。

もろしを作成して自分たちでボスティングしたり、手づくり市に出店したりしながらお客様を開拓することで、リピートしてくださるお客様が増えました。野菜が揃わず、5種類になることもあるのですが、それでも野菜ボックスをとり続けてくださるお客様がほとんどで、そんなお客様に恩返しをしたいと思うようになりました。こうしてお客様にご理解いただく中で、お客様は商品だけを見ておられるわけではないのだと気づき、お客様に育てていたのだという意味がようやくわかったような気がします。

### 大切にしていること

今の仕事は、効率が悪いのですが、大切に育てた野菜をま

めてコンテナで運んで市場へ出すのではなく、ひとつひとつ直接お客様にお渡しすることにやりがいを感じています。京北に来るまでは経験が浅いことに加えて、栽培できる農地が広がらないことに苦労をしました。京北に移住してからは、気候が難しく慣れることや、慣習などまた別の苦労があります。畑や

畝に京産周辺の野菜を食べられ合感したとき、せっかく育てた野菜をお客様にお届けできない悔しさでいっぱいになったこともあります。

私は農薬や除草剤を使わずに有機肥料だけで野菜を育てることを大切にしています。必ずしも農薬が良いと考えているわけではありませんが、以前、農薬を使っていた時に畑から虫がいなくなってしまうことに疑問を持ち、野菜を自然な状態で育てることが大切と考え、それから無農薬にこだわることになりました。

### 京北で農業をすること

京北では、地域の方が無農薬栽培に理解を示してくださるし、農地はたくさんあり資料は



京北で農業を始めてから、地域の多くの方たちに助けられていることをひしひしと感じています。

### 東の大原、西の京北

安いし、そして何より私たちが受け入れてくれる方がたくさんおられます。私は地域の方たちに助けられていることをひしひしと感じていて、感謝の気持ちしかありません。都市部で農業をしていたころは、周辺の方たちとの関係に苦労する部分もありましたが、京北ではみんな優しくて私たちが温かく受け入れてくれました。家の前で農作業をしていると声をかけてくださるし、そういった関係は都市部にいたころと違いです。人間関係が良いし、家は広いし、小屋まであるというところが、京北に住んでなにより良かったと実感することです。

これからは、お客様に「野菜の旬」を楽しんでもらうことを振りたいし、もっとしっかりと満足度のいく野菜を作り、さらにと種類の野菜をお届けしたいと思えます。また、たくさんある農地ですが、無農薬で野菜を作ることは私たちの力だけではできないので、今後は、研修生を受け入れて人材育成もやっていきたいです。そして、ひそかに京北が無農薬栽培の先進地である大原のような地になったらいいなと思っています。将来「東の大原、西の京北」と言われるような地域を目指す仲間を増やしていきたいです。



### あらい農園

農業  
TEL: 090-1157-2764  
MAIL: arainouen0@gmail.com  
HP: arai-nouen.net  
京都市右京区京北上原田町吉野110-3



### 赤坂武敏さん

#### 日本の型染めの面白さ

美術系の大学で染色工芸、絵画、彫刻、デザインなどを広く学び、卒業後は京都の型染めの会社に就職しました。当時は求人募集はしておらず、何度か足を運び、大学の先生の紹介もあり、何とか就職できました。京北に移住したきっかけは職人としての希望があったからです。反物等を染めるため、ある程度広い場所が必要だったこともあり、自然豊かな京北を選びました。

今、力を入れているのは、海外との交流です。フランスの舞台衣装デザイナーとのコラボレーションであったり、海外の型の研究者連との交流の中で、自然と海外へも日本の型染めの面白さを伝えたいと思うようになり、海外では型を使うとなるとステンシルという直接刷毛で塗り込むか、シルクスクリーンという方法を主に用います。中国や台湾などでも大豆やこんにゃくやでんぷんの防染糊を使う方法もありますが、もち米の防染糊は日本独自のものです。

型染めは、基本手差しで色を入れていきます。それ故にプリントものにはない味があります。今ロンドンでデザイナーの先生に型染めの技術のレクチャーをしており、もち米の防染糊を使った型染めの技術を海外に伝えようという取り組みがあります。海外の方の、こういった技術をもつ職人への尊敬の念はとても強く感じられます。

**型染めという伝統文化**

18〜19世紀にヨーロッパで「ジャポニスム」なるものが確立される程、とても多くの日本の型紙が海外へ渡り、日本のデザインはテキスタイルのみならず、絵画や室内装飾、家具、文房具、ステンドグラス等、多岐にわたって影響を与えました。そして今、海外に渡った日本の型紙をもう一度日本で復活させる動きがあり、私も興味を持っていきます。また他にも、平安時代や奈良時代といった古代の染色の再現にも協力しています。実は江戸時代に染物屋のために炭を生産していた地域が、京北の尻屋町である可能性があります。そんな京北で木炭を作るための植物



tint

型染め  
MAIL: kimuchi.ta.minchi@gmail.com

伝統を重んじた上で  
新しいものづくりをして、  
技術とともに国内外へ伝えていきたい。



を採集したいと、柿、サワフタギ、アセビといった植物を探しています。もし、こうした植物を京北で採集して古代染色の再現に貢献できれば、江戸時代の染色に重要な役割を担っていた可能性のある場所として、京北のPRにも繋がると思っています。

**「用の美」**

仕事をすることで常に心掛けていることは「用の美」です。実用品の、使う為の美しさと言いますが、精神的な美しさ意識しています。私は伝統を重んじた上で、海外へも技術とともに伝えていきたいです。

この仕事は、素直で一本心が

通っているような方に知いてい  
ると思います。加えて「それも  
あるかも」、「それって本当か  
な?」と思えるような柔軟な心  
も持っていてほしいです。

**京北の魅力**

仕事をしていても、外の自然  
を見ながら作業ができるし、何  
といっても静かで構想が練りや  
すく、自然と頭の中にアイデア  
が広がります。デザインに活かすこ  
とができます。デッサンなんかも  
わざわざ出かけていなくても、  
家の周りにたくさん対象物  
があります。そんな豊かな自然  
が京北の魅力です。



# 京北すえひろ

北山杉をつかいオリジナルの鯖寿司を開発

## 畑段正和さん



鯖寿司をひとつひとつ丁寧に北山杉で包み込んでいく

### 「杉幹」の開発

地元の高校を卒業後、料理屋として独立するつもりで10年ほど料亭やホテルなどで修行していました。そのころ「独立するならば元気がうちに」というアドバイスをしてくれた人がいて、京北に戻ってレストランを開業し、その後今の仕事である仕出し屋になりました。

西の鯖街道といつて、京東、若狭で揚がった魚などが京へ運ばれ、京の文化が若狭へ運ばれたとされている。福井県の高浜から京までを結ぶルートがあります。その街道が京北を通っていることで、京北ではハレの

日に鯖寿司を食べる風習があります。地元のために何ができるのかと考えた時に、食の分野なら自分にも貢献できるのではと、鯖寿司で特産品を作ろうと思いました。それが、鯖寿司と地元特産の北山杉を使った「杉幹」という商品です。京北地域では、法事のときに、にぎり寿司の詰め合わせなどを手土産に持って帰る風習があることから、少し変わったものをというので、杉幹をお客様に使ってもらったところ、それが大変好評でした。それからクチコミで少しずつ評判が広がり、今ではメディアにもよく取り上げられています。ただけるまでになりました。

### お客様の笑顔が見たい

「お客様の笑顔が見たい」。私のやりがいはいはこれですべてです。お客様に笑顔になってほしいために、常にお客様の顔を思い浮かべながら商品を作っています。毎朝5時から仕込みをはじめ、午前中には商品の製造を終えます。午後からは、販売店さんとのお話しや、情報収集、新商品の開発などに取り組んでいます。常にお客様のことを考



## 京北すえひろ

鯖寿司の製造・販売、鯖寿司づくり体験  
TEL: 075-654-0113  
MAIL: masae@vivid.ocn.ne.jp  
HP: keihokusuehiro.com  
京都市右京区京北上町南段上ノ下16

えています。また、材料にもこだわりを持っており、鯖寿司の鯖は産地や品質を重視し、すし飯用のお米も炊きあがり等を必ずチェックし、妥協は絶対にしていません。

京北は、静かで自分のペースで仕事ができ、四季を感じながら料理をつくることができ、感性を研ぎすまし、旬のものを使って商品を作るのにはとても良い環境です。

### 鯖寿司づくり体験

数年前から鯖寿司づくりを体験いただける取組を始めました。体験では、自分で作った鯖寿司を食べただけでなく、鯖寿司に愛着を持っていただくようにしてあります。そしてそのことで、プロが作る鯖寿司の価値を改めて知っていただけていると感じています。

最近では、外国人観光客の方が体験に来られることも増えました。私は、「これぞ日本の原風景」ともいうべき京北の文化のすばらしさをたくさんの方に知っていただきたいと思っています。ですので、京北のファンとなつて、何度も京北に足を運んでいただけるよう、心を込めておもてなしをしています。鯖寿司づくり体験をきっかけにして、京北でのインバウンド消費の拡大につなげていくことが、今の目標です。

# 四辻木材

山を整備し、林業を次世代へとつなぐ

## 四辻誠悟さん



先人が残した資源を未来へ引き継ぐ

### 次世代へつなぐ林業

祖父の代から林業を営む四辻木材で25歳から仕事をしようになりました。チェーンソーを使って伐倒した木の枝を切り落したり、長さを揃えたりする造材を得意としていました。切った樹が真っ直ぐで、とても美しい仕上がりに。市場でピシッと並べられる原木になります。

当時の経営理念は、「地元で利益を創出、次世代へつなぐ林業」です。地元の人の手で木を伐倒・搬出し、地元で販売し、少しでも多くのお金を地域などにより山へ返すことで、次世代

### ウエブで情報を発信

今の時代は、山主さんでも情報は林業に集まっておられず、作業を誰に頼んでいいのかかわからないという方も多いです。そのような山主さんに当社を見つけてもらえるように、ホームページでの発信に力を入れています。少しでも山のことを知ってもらえれば、私の経験や知識をブログに書いたりしていま

また、持ち主がわからない山の整備も大きな課題となっています。今後は、こうした山の整備は、国が定めた企業を受けることになっていくのではないかと考えています。実際にそうなった時に整備を受託できるよう、産機の免許や、森林プランナー、フォレストマネージャーといった資格を取れるなど、今から準備に取り組んでいます。

### こだわりと展望

現場では、けがをしないようにということを一層大切にしながら、なおかつ美しい仕事をしようという気持ちです。

林業では一般的に見取りを出す際は、現場のすべての木を測ることはせず、何本かを抽出して測り、面積を掛けて金額を計算しています。しかし、当社では、必ず従業員が出すすべての木の太さを測ります。そこが当社のこだわりです。

京北には木材市場がありません。山から切り出した木をすぐ市場に出せるので、コスト面で有利です。私は、この市場を



## 四辻木材

立木の伐倒から搬出まで、山林の管理  
TEL: 080-2500-6409  
MAIL: seigo.800830@gmail.com  
HP: 4224.jp  
京都市右京区京北上町南段上ノ町15

### 自然の変化

京北に住んでいると、仕事が終わって家に帰った時、周囲に自然があまりその変化を目にするので驚かされます。京都の市街地に住んでいた時は、家に帰っても窓の外の景色が劇行ったときのみで、何も変わらない状態の部屋に戻るといったのが、なんともしつない気持ちになつたものでした。それだけに、京北の自然を次世代につないでいきたいという思いが強いです。

残していきたいし、そのために伐採後にはきちんと植林をし、植林した木が育ち、今の山主さんの子孫へと繋いでいってほしいです。



# 山の家具工房

素材と暮らしに向き合った丁寧なものづくり

## 田路宏一さん



暮らしと仕事がいかに豊かなものであると感じている

### 懐の深い職人

大学卒業後、7年間アンティーク家具の修理販売の仕事を経た後、東北に移住して家具工房で本格的に修行をしました。そして、2009年に注文家具の製造販売「山の家具工房」を設立し、独立しました。テーブル、イス、収納家具など作り付けではない家具全般が中心ですが、スプーンやお皿などの生活雑貨も作ります。「モノ」をお客様へお届けすることだけでなく、お客様に無垢の木の手触りを感じてもらいたいことや、お客様の要望を形にするまでのやりとりなどの中で、

その楽しさを共に味わい、それが木とのふれあいにつながると思った。「モノ」が完成するに至るまでのことを大切にしたいと思っています。お客様との要望にはできるだけ応えたいという思いがあるため、よほどのことがなければお断りすることはありません。自分ではある程度小回りがよく職人であると思っています。職人と作家は違っていて、作家は自分の思いをどんどん深めていく人で、職人とはお客様の要望に応える懐の深さが求められる人だと思っています。だから私は相手によって自分の思いとお客様の思いとの重さのバランスをとるようにしています。

### 好きなことを仕事に



### 山の家具工房

家具、木工品  
TEL: 075-853-7039  
MAIL: tojyama-kagu.com  
HP: yama-kagu.com  
京都市右京区京北嵯峨町水ノ前58

仕事が始まると思っています。最近、ギャラリーに加えて工房でワークショップをするイベントを始め、お客様が東北に足を運んでいただける機会をつくりました。東北に木がたくさんあることや、その木のぬくもりなどをお客様と共感し、そのことが東北に来ていただくことへの結びつけになればいいなと思います。東北の木を使っている商品をつくることのできるか、ワークショップを通してお客様といろんなことの共有がどれくらい深まっているか、これからとても楽しみです。こうやって好きなことを思い切り楽しんで、仲間を広げていけたらと考えています。

### 豊かな自然と子育て

東北に任んで一番良かったことは、自然が豊かで自分たちの気持ちも自然体で暮らすことができるところです。昨年、初めて田舎体験をして自分たちが食べるお米を作りました。近所の方たちが通りがかりにいるんなことを教えてくださって、とても勉強になりました。また、自分が子育てをするのに都合では無いと感じたこともありますが、東北ではのびのびと育見ができています。造られた公園はないけど自然の川があって、山があつて、いろんな動物が見られます。のびのびと子育てをするなら東北です。

# 株式会社 村山木工

立体組子細工で伝統の技術を現代に生かす

## 佐伯崇広さん



釘などを一切使わず木を緻密に組み上げていく

### 村山木工に就職

宮城県出身で、栃木県で車の足回り部品を製造する工場のラインで働いていました。ある時自分の仕事は直接お客様の前が見えないということに気づき、工場勤務に意欲を喪失してしまいました。父親が趣味で木工をしていたことから、以前から興味を持っていた木工の学校について調べ、京都府の伝統工芸大学校に入学しました。村山木工を知ったのは、大学の先生が村山木工の社長と知り合いで、紹介いただいたのがきっかけです。実際に作品やホームページを見て絶対ここで働きたいと思

いました。思いが強すぎて、採用が決まるまでに東北に住み始めたほどです。栃木県の工場での仕事では、ライン作業をいかに効率よくまわすかという段取りを学びました。これは今の仕事にも役にたっています。大学校で指物を学んでいたころは、自分が納得いくまで制作に没頭することができました。しかし、仕事となると納期や価格があるため、どこまでやるかという段取りが必要になります。また、納期や価格に合わせて材料や技法も選ばなければいけません。最高のものを最高の材料と技術で制作することが理想ですが、お客様が仕事の対価を支払われるため、それに見合った材料や技法のチョイスが必要となります。こういうことがはじめるほうはうまくいかず、よく社長に叱られることが、今はずいぶん叱られることも減りましたが、学校で習った知識だけではできないことがたくさんあつて苦労しました。今も苦勞はたくさんありますが、楽しい苦勞で、ストレスと



### 株式会社 村山木工

オリジナル立体的組子による建築パネルの製造  
指物組子細工、木工器具製造  
TEL&FAX: 075-853-0481  
MAIL: mu\_119@cloud.com  
HP: muwood.com  
京都市右京区京北嵯峨町水ノ前20

段取りの必要性  
指物の工場での仕事では、ライン作業をいかに効率よくまわすかという段取りを学びました。これは今の仕事にも役にたっています。大学校で指物を学んでいたころは、自分が納得いくまで制作に没頭することができました。しかし、仕事となると納期や価格があるため、どこまでやるかという段取りが必要になります。また、納期や価格に合わせて材料や技法も選ばなければいけません。最高のものを最高の材料と技術で制作することが理想ですが、お客様が仕事の対価を支払われるため、それに見合った材料や技法のチョイスが必要となります。こういうことがはじめるほうはうまくいかず、よく社長に叱られることが、今はずいぶん叱られることも減りましたが、学校で習った知識だけではできないことがたくさんあつて苦労しました。今も苦勞はたくさんありますが、楽しい苦勞で、ストレスと

なるようなものではありません。立体組子という仕事  
村山木工は指物と組子を融合させた建築内装を立体組子細工という新しい商品として、ラグジュアリーホテル等に設置しています。当社は現場への設置も自分たちで行うため、常駐があれば自分も施工のために現場へ行きます。完成した立体組子細工を見た時のスケールや美しさにはいつも感動します。お客様が感動している姿を自分の目で見られることも仕事のやりがいにつながっています。お客様が人に自覚したくなるような良いものをつくりたいと思っています。前品を見たお客様が笑顔に

なり、そして幸せになっていただけるようにと願っています。木工に良い環境  
東北には山があり木があり、木材市場があり、製材所があり、これは木工には大変良い環境です。自然が豊かなので自然物から作品のヒントをもらうことも多いです。例えば花を見て「きれい」と感じたら、どこがきれいなのかと考え、曲線を見つけてそれがヒントになります。また、東北はちよつと足をのばせば京都の寺院などの建築物や庭を見られるので勉強になります。こうした京北で得られる感性を、木工に活かすことができ



# Bagworm

消費者を見据えたデザイン

## 高原万友美さん

### デザインの先への思い

中学生の時、自宅で家電デザインの仕事をされている主婦の方の本を読み、感銘を受け、大学でグラフィックデザインを学びました。卒業後は就職を経て、友人とデザイン事務所を設立して仕事をしていたが、在宅で仕事をしたいという思いを高く持ち続けていたので、現在は個人で印刷物の企画・デザイン・制作などの仕事を受けています。

仕事の依頼をいただいたお客様に喜んでもらうことにやりがいを感じるのはもちろんですが、例えば商品パッケージのデザインなどでは、依頼主の先の一般消費者のお客様が自分のデザインした商品を手にとられることを想像するのがとても楽し



鉄工職人とグラフィックデザイナー  
自宅で仕事をしながら暮らす夫婦

**移住を検討される方へ**

京北は市街地への通勤圏内です。自営ならいい環境で仕事ができるし、求人している事業所もあり、京北で仕事をするのもできます。

興味があるなら、まず家を借りて住むのがいいと思います。自分たちはいきなり家を購入しましたが、仲良くなくなってから良い物件がたぐりあることを知りました。まず借りて住んでその地域の方々と仲良くなれば、自分にとってすごく良い物件をきっと紹介してもらえます。

いです。また、同じお客様から次の仕事をいただいたときは、自分の仕事に満足していただけたのかなと思ってやりがいを感じます。

お客様と打ち合わせをしてデザインの方向性や広告等の目的などを共有しますが、お客様の思いが言葉で共有できるときは仕事が早く進みます。反対にお客様の意図がなかなか言葉では共通認識にならないときもあります。そんなときはイメージを目に見えぬ形にして見ていただくのですが、お客様から「それー」と言っていただけで、自分の中に大きな喜びが湧き上がります。

**心がけていること**

お会いして打合せをすることもあります。インターネット



を介してデータを送受信しながら仕事を進めて行くことが多いため、クライアントさんとはメールや電話で連絡を取り合うこととなり、お互いの顔が見えないやり取りが主となってきます。そのため、できる限り相手の立場に立って考えた、メールの文面や言葉遣い、電話での声のトーンや話し方で、気持ちの良いコミュニケーションが図れるように気をつけています。そういうことから信頼関係が生まれ、次はより良い仕事ができると思っています。

### 狭間鉄工

鉄加工(インテリア、エクステリア、看板、鉄骨工機)  
MAIL:spaceinworks@gmail.com

### Bagworm

印刷物(企画・デザイン・制作)  
MAIL: mayu@bagworm.net

京都市右京区京北下鴨町御橋1-51

# 狭間鉄工

モノの力を引き出す鉄加工

## 高原由雄さん

### 鉄加工の道へ

2018年に鉄加工を始め、今年自宅横に工房を建築しました。インテリア、エクステリア、看板などを中心に、鉄骨工事も簡単な工事であればさせてもらいます。工房が完成したばかりで、まだスタートもしていない状況ですが、お客様に喜んでもらえるようにしっかりしたものを作りたという気持ちでいます。地域の特性を生かして、昔や陶のトラップなども作りたいと思っています。

鉄加工の修行も京北でしていました。修行先では鍛冶ストロブの製作、設置などを中心に学びながら、ビザを焼いていました。実家が鉄工所ということもあり、これから鉄加工の仕事でやっつていこうと思いはじめたこ

### モノの力を引き出す

鉄加工の作業はモノですが、そのモノが発揮する機軸性をしっかりしたものにしたいと思っています。そのモノの力を最大限に引き出すように作ることを心掛けています。またモノだけがお客様の手元に行くのではなく、取り付けが必要なものについては自分がお客様のもとへ行って取り付けるところまでが仕事と考えています。それもモノの力がしっかりと発揮できるようにという思いからです。



京北では音を出しても都合はど気を使わずにすみ、仕事がありやすいです。地域柄、農家の方が多く、田舎の風情が使いやすいく取り付けたら、雪かきの機械の先の部分を修理したりといった想定していたなかった仕事の受注もあります。

将来「鉄でこういうものを作るなら高橋さんに頼もう」と言っていただけのようになっています。

### 京北の暮らし

市街地に住んでいた頃に東日本大震災が起きました。そのときに電気なども含めてライフラインが供給されなかったことを当り前と肌で感じたことに疑問を持ち、小さい集落で自然と共生しながら生活がまわっているような場所に住みたいと思い始めました。また自給自足にも興味があつて、そんな暮らしを表現できると思え、京北に移住しました。

市街地に住んでいた頃とは違って、欲しいものがすぐ手に入るような大商店はありません。だから「買わずに作る」ことを考えるようになりました。お菓子をはじめ味噌やみりんなども自分で作ります。それほど京北では、自然の食材が豊富なのです。鹿が獲れたときは、ひと月肉を買わずに暮らせました。

京北は自然環境に恵まれ、暮らしていて気持ちが良いし、人との距離もとても心地よいです。市街地のほうがたくさん人がいるはずなのに、田舎の方が「人と一緒にいる感」があり孤独感などは全く感じません。



# カルチャーカフェ ギャラリーYU

## 30年以上続くステンドグラス作り

川尻美栄子さん



ギャラリーには数多くの作品が並んでいる

### おもしろいもの

新潟県出身ですが、若いころは東京、京都、大阪など都会で店舗のディスプレイを設計したり、設計の仕事などをしてきました。田舎暮らしへのあこがれもあり東北に移住し、ステンドグラスの制作活動を始めました。もう30年以上になりました。ステンドグラス、モザイク、フュージング、それからトンボ玉も作ります。作品によってそれぞれ技法が異なり、糊皮や完成までの時間も変わります。例えば、モザイクはガラスを並べてから、専用のセメントで固めますし、

フュージングであれば、デザインに使ってガラス板を切ったり、ガラスパウダーをまいたりして配置したものを電気炉に入れて溶融（フューズ）して作品にします。想々人に「おもしろいね」と言ってもらえるようなものを提供したいと考えて仕事をしています。

### 制作のこだわり

工房除由の依頼や一般のお客様から直接注文を受けたり、最近では、近所の農家民泊に泊まられた外国人観光客の方が立ち寄ってくださるようになり、その場で注文をいただくこともあります。どんなときでも私は、必ずお客様の家の構造を確認したうえで、作品を作ります。お客様の思いや気持ちに近づけるため、絵を描くことでお客様のイメージに近づけてから制作にとりかかります。



カルチャーカフェ ギャラリーYU  
ステンドグラス  
TEL&FAX: 075-852-0309  
MAIL: ccalegyusigma@gmail.com  
HP: ccalegyuu.wixsite.com/yuyu  
京都市右京区京北下橋田町妙見谷1-1

# マエダ木工

“想い”と“こだわり”を追求した家具作り

前田智之さん



家具で環境を豊かにすることがモットー

### 施工家の幸せ

2011年に福井で木工家具の製造をはじめました。材の選定などにこだわりを持って、作業場と自然環境が良くなればと思っています。オーダーキッチンを得意していますが、他にも下駄箱、洗面所、ダイニングテーブル、ベンチなど家一軒分の造作家具を作ります。京都市内で木工の修行を7年した後、木工研修留学でドイツの家具マイスターのもと、工場で働きながら2年間学習しました。その間ヨーロッパ建築などを見に行き、それが今の技術に活かされていると思います。

### 家具作りのこだわり

僕は「作っているものが誰にかなっているか」を意識して材料を選びます。特に国産材を使うことにこだわっています。材質自体が良いというだけではなく、国産の木材を使うことは僕の「想い」です。もしかするとお客様には関係のないことかも

修行の場である京都に工房を思い、子育ても考えて京北に移住しました。工場は福井県に置いたままですが、京北では設計や商談をしています。僕は作家というよりは施工家になりました。それでインテリアデザインを自分でしたいと思い、建築事務所さんと共同で仕事をしています。

### 京北の環境の良さ



### マエダ木工

オリジナル家具、オーダー家具の製造  
TEL: 080-4743-1439 FAX: 075-820-1736  
MAIL: maedamokko@gmail.com  
HP: maeda-mokko.com  
京都市右京区京北藤町三所谷40

思い描いて制作しています。京北の環境の良さを感じます。家からの風景が目に見える、良い思考につながると思います。大きく変わった家具が思い出なることを思い描いて制作しています。

将来的には、京北で雇用をしたいと思っています。正社員だけでなく、パートタイムで子育てをしながら手伝ってくれるような人も雇用して、家族みんなが集って働けるような工場にできればと考えています。

将来的な目標  
私は将来的には、京北で雇用をしたいと思っています。正社員だけでなく、パートタイムで子育てをしながら手伝ってくれるような人も雇用して、家族みんなが集って働けるような工場にできればと考えています。

ときにはとても楽しく思いますが、

### 暮らしの創造性

京北で作品づくりをするとき、その背後にある日々の暮らしが、その影響を与えています。例えば、ステンドグラスのデザインを考えるにしても、そのデザインには日々の暮らしが反映されています。

私は、田舎暮らしにそこが京北に住みました。もともとは京北のことは知りませんでした。知り合いのアーティストに紹介してもらって京北に住み始めました。生活の中では大変な面もありますが、田舎で農作業はできるし、生活を楽にすることが

できています。今までのようなところに住みましたが、京北が一番良いです。変な話かもしれませんが、忙しいのが楽しいです。都合だと自分の暮らしの中で、なにかあればすぐプロに依頼して解決します。ですが、田舎では自分の暮らしは自分で解決しなければいけないことが多いです。言い換えればなんでも自分でできるという事です。こうした京北での暮らしそのものが、ものづくりの創造力につながっていると感じています。



# 株式会社 K・Kファーム

自然と共生するスタイルで精油を製作

村山寛さん

## 自然が循環する商品



精油を抽出するための装置も自社で製作

北山杉の枝葉から精油を抽出して販売しています。また、本格的なビザサのビザ作り体験を提供もしています。自然を元の状態に戻したいという思いから、東北の自然の木を精油、抽出して石けんをつくることからスタートしたのですが、原料のアロマオイルが好評だったこともあり、アロマオイルを扱うようになりました。

これまでもいろんな場所での催事に出店し、商品をPRしています。そこで商品を気に入ってください方がチコマに近づ

**京北の資源を生かす**

私は京北の強みである自然を生かして仕事ができていると思っています。京北には資源が山ほどあり、また、人と人とのネットワークが形成されているので、アドバイスや紹介などの様々な場面で助けていただけたことが多いです。今はこうした京北の強みを生かした体験ツアーに力を入れています。都市部のお客様を自分の山へお連れして、杉を伐採し、枝打ちをし、打った板を機械にかけて粉

砕するといった作業を体験してもらい、作業の合間に私が作ったお米のおにぎりを現地の山で食べていただきます。普通のおにぎりですが、山だと格別の味になります。そして、私が育てた梅干しなどをトッピングして自家製ビザサで焼くビザサ、私が作ったもち米でついた納豆もちなど、すべて自分のオリジナルのものを出してあげたいと思っています。お客様に京北を満喫してもらいます。都市部から来られたお客様は、そうしたオリジナルの体験を大変お喜びになります。もっともって皆様に来ていただき喜んでほしいと思っています。

私は、林業で生活できる若い

**都会と京北の違い**

京北出身ですが、ある時期東京に任んできたことがあり、その時は空気や風が京北とは全然違い、昔も気になって寝られませんでした。京北には自然の宝物がたくさんあります。京北に戻って、今はこんな良いところはないと思っています。



## 株式会社 K・Kファーム

精油の製造・販売、見学ツアーの提供  
TEL: 075-853-1668  
MAIL: hirashi\_murayama\_0108@yahoo.co.jp  
HP: suginosei.weebly.com  
京都市右京区京北新田町新田30

# green tail

大自然の中で過ごせる犬の総合施設

大島剛司さん

## 生き物に寄り添う



犬の個性を発見させることがとても大切

「犬とお客様に喜んでいただき、犬と共存する社会を豊かにすること」を経営理念に掲げ、犬の保育園、ドッグホテル、しつけなどを行う犬の総合施設を運営しています。京北で開業したのは、独立するときに顧客ターゲットを京都市内に絞っていたため、市内で希望する広さや設備が備わっている場所がなかったからです。

私がこの仕事を選んだのは、子どもの頃の経験があったからです。昔、自分の家の犬が死んだとき、自分は反抗期で犬に寄り添ってあげられず、そのとき

のこともとても後悔しています。犬に対して「もつとできたのにな」という思い、子どもの頃から生き物が好きだったのでドッグトレーナーになりました。犬が喜んでくれる姿や、その犬を見たお客様がイキキされるのを見るときとても嬉しいですし、いつも生き物自体がおもしろく学びがあると感じています。

**犬の総合施設という仕事**

朝は、早い日は5時からホテルでお預かりしている犬の排便等と朝食を済まし、その日お預かりする犬を迎えに行きます。ドッグランやトレーニングをして、夕方にはお客様のもとへ犬をお送りします。しつけがあるときは、そのあと出張でお客様のご自宅へ伺います。自宅へ戻りドッグホテルで預かる犬の排便を済ませ、午後1日勤務に仕事を終了します。私は、仕事をするうえで大切にしていることは、すでに体に馴染んでいて、特別意識するものではないと思っています。お客様と犬、それぞれの本質を見て、喜んでいただけるサービスを提供するこ



## green tail

犬の総合施設  
TEL: 075-853-1515  
HP: greenta@main.jp  
Instagram: @greenta\_jp  
京都市右京区京北宇治町立野5-1-1

とだけを常に意識しています。

**犬の心理学**

最近、犬の行動などを人が理解できるように研究するといったバイリンガルの研究を手伝っているのですが、以前から心理学の勉強をしていたので、とても興味深いです。現在は、なかなか犬の気持ちをビタッと来る言葉で表現されているものはありません。例えば、犬が散歩中に知らない人を見て吠えるという行動がありますが、一般的にこれは餌の主を守る行動だと言われています。しかし、「守る」という意識より、「心がざわつく」といった感情のほうがしつくりくると思っています。犬

は、守るという感情で吠えているわけではありません。犬の感情を言葉で表現するのは難しいですが、将来、人が理解できるような犬の気持ちがわかる本などを作りたいと思っています。

**今後の目標**

至新約なことにチャレンジする領域はあるのですが、今は事業の規模を大きくすることを第一に考えています。メインターゲットである京都市内のお客様に喜んでいただき、ゆくゆくは従業員も雇用して、後継者へとつないでいきたいです。



# 農家民宿 Banja

日本の伝統的な暮らしを共に味わう民宿

田中正則さん・なみさん

## 幸せのシェア

2016年7月から、農家民宿 Banja と一棟貸し五石焼門をやっています。20代代のころから除が好きで、宿屋はやりたかったの一つでした。理念はみんなが「幸せになること」、うちの宿屋もこの地域も、特別な何かがあるわけではなく普通の日本の田舎、普通の暮らしよりです。日本の田舎の平和さやビースフルを、この自然の豊かさの中で一緒に過ごすこと、京北（日本）の生活をシェアすることが結果的に幸せのシェアになると思っています。

お客様は外国人の方も多く、ホームページを見て予約をいただいたり、海外メディアの取材を受けその新聞や雑誌を見て来られたりします。例えばニューヨークから来ます。東京や京都市街地に立ち寄らず京北に来られた方もありました。

海外のお客様にはジャパニーズトラディショナルスタイルを体験してもらって、昔ながらの日本の生活文化を知ってもらえます。日本人のお客様には昭和の日本の普通の暮らしを体

験してもらおうということになったしきを添えてもらえます。若い世代にはジブリの世界というところで喜んでもらえます。ジブリは海外でも人気で同じく喜んでいただけました。先日お越しになった方は湯たんぽを見て目をまんまんにされていました。その夜、湯たんぽを使ってお眠。これはたいしたもんだと大変喜んでおられました。

## 大事にしていること

海外のお客様には縁起にまつることなど、お風呂一つとっても入り方をきちんと説明します。ここでは当たり前のこともひとつひとつ説明したほうがよくなるので、自分の暮らしよりを確信して、風習や習慣を客観的に理解し、自分自身が丁寧に生活できるようにしています。

私はできるだけお客様と一緒に近所を歩いて散歩をするようにしています。途中で会った方と農作業の話をし、神社でお参りの仕方を説明してそのとおりにやってもらい、日本の神様のお話をし、またお寺では祭の話をして、歩きながら季節の



## 農家民宿 Banja

農家民宿 株式会社  
TEL: 075-655-1700 携帯: 090-8912-0269  
MAIL: banja.kyoto@gmail.com  
HP: banja-kyoto.com  
京都市右京区京北下棟田町杉ノ谷31

話やその季節ごとの食べ物のことなどを話します。文化が違う外国人の方は目をキラキラさせて私の話を聞いてくれます。

こういつたコミュニケーションをとることで私はいつもお客様から元気をいただきます。お客様が帰られた後に疲れを感じることがなく、次のお客様を楽しみに待っています。お客様はそれぞれ個性があり、接客に同じ瞬間というのはなく、まさに一期一会だと思います。

## シンプルな暮らし

京北に来て22年になりました。当時、日本をばなしに出てくるような暮らしがしたいと思っていた。京北に移住しました。当初

は田舎にしばらく住んでその後ニューヨークへ移ろうと思っていたのですが、京北に住んでみて、その思いは消えました。それぐらい京北が好きになったということです。このシンプルな暮らしができることは贅沢だし、暮らしがシンプルになればなるほど心が豊かになります。

## アーティストの町

京北はアーティストの町と言われている。いろいろな人が住んでいる。適している町のように、妻は陶芸がたくて京北に移住して、今陶芸家として作品を制作しています。京北というこの空間を創作活動の資源として利用して働くということもできます。



日本の伝統的な生活を残した京北の暮らしを共に過ごすことが幸せのシェアになると思っています。



# 塩治軒

昔から変わらない真面目な和菓子づくり

## 高乗春久さん



ひとつひとつに手際をかけた伝統的な製法

### パトンの引き継ぎ

大正5年から続く和菓子屋で4代目として和菓子を作っています。昔から近辺には菓子屋があり、初代の当時は新参者だったと聞いています。昔、あるとき砂糖が足りず、近くの菓子屋に借りたことがあったそうで、その時の懐かしい気持ちもパネに刻印してこられたという話を先代から聞きました。当時たくさんあった菓子屋も今は数が少なくなり、代々の継ぎが引き継がれてこそ今の今があるのだという気持ちと、続けていくことの難しさを感じ、今度は自分がしっかりとパトンを引き継いでい

かねばとの思いでいます。うちの店は、お客様が和菓子を手にとられるところまで見届けたいという思いから、対面で販売するというポリシーがあります。でも、これからは販売方法を工夫して、ポリシーを大切にしながらい、新しい販売方法などにも挑戦し、良い状態で5代目へパトンを渡すことを目標にしています。

### 基本の奥の感覚

見た目は同じお菓子でも、それぞれの際によって味の違いがあります。業界ではレシピのこととを「わり」と言いますが、わりはわかっても、奥にはそれぞれの作り方があり、こと作り方が手作りの和菓子には大変重要で、「あん」「ひとつをとっても厚いものがあります。そこは結局「感覚」で、和菓子以外の職人でも同じかもしれません。まず基本を学んだ後、それぞれの店の味を習得していきます。

### 問屋との関係

私にとって、まずお菓子の質を保つことが一番大切なことです。それには材料の質が欠かせ



### 塩治軒

和菓子の製造販売  
TEL: 075-854-1800  
HP: shojiken.com  
京都市右京区京北上中町九条伏16-3

ないため、材料の問屋さんとの関係を大切にしています。もし材料の調達に問題が起きても問屋さんは当店のお菓子作りができるよう配慮してくれると思えます。それが結局お客様に大切にするのだと思っています。今、ある病院から20年以上にわたり、毎年の創立記念日に和菓子の注文をいただいています。最初のお取引をさせてもらう前に、「田舎の菓子屋がどんなものをつくるのか」ということから、当店の商標を何個か食べていただいた経験があります。その結果、「この菓子の質にまちがいはない」という声でお取引が始まりました。この注文の納品日は毎年当店の繁忙期と重

なるつらい時なのですが、納品に何うと見た目（白衣と白帽子）で私が和菓子屋だとわかるため、見知らぬ職員さんが「今年もおいしいお菓子を持ってきてくれるね」と声をかけてくださるのです。この瞬間に疲れは吹っ飛び、やっつけて良かったとジーンとします。

**ほどよい距離感**  
京北は、都会のように、隣近所との交流がないということもなく、ほどよい距離感のある関係です。移住された方たちとの距離も、暮らしが長くなるにつれて縮まり、「一緒に地域活動もやっています。

# 料理旅館 すし米

創業100年を超える老舗のおもてなし

## 黒川修子さん



すし米の歴史を次の世代へ繋げていきたい

### 誠心誠意のおもてなし

大正初め創業の料理旅館すし米で女将をしています。平成23年から「SUSHI RICE」を不定期で営業し、現在は急激のWEBとして、地酒やおぼんざいを提供しています。

私は、結婚を機に京北に移住し、料理旅館の仕事を始めました。それまでは、セクレタリーの仕事をしていたのですが、気配りや配膳、スケジュール調整など、秘書の経験が女将の仕事にも役立つと思っています。

うちでは、四季折々のお料理を和の空間で召し上がっていただくことに重点をおいています。

### 気持ちをつなぐ

お客様にサービスを提供するなかで、女将としてお客様と様々な話をします。それは、お客様の気持ちを板場に伝えたたり、板場の思いをお客様に伝えたりといった、言葉が板長とお客様の橋渡しをすることだと思っています。この「伝える」ことに難しさがありますし、それぞれ思いをつなぐ「言葉」

に誤解が生まれやすい心がけられています。気を使う部分ではありますが、一方でこのお客様との会話が私の学びになっているのも事実で、仕事とプライベートの境目がいまいち「女将」を兼しみながらさせていただけている理由でもあります。

すし米では「和」を学んで伝えたいという思いから、「酒」という活動を始めました。この活動では、着物やお茶、おぼんざいといった和の文化を、特に若い世代に知って感じてもらうよう、体験教室などを開いています。和の文化には「物を大切にすること」が重要で、それは「人を大事にする」ことであり、思いやりだと思っています。



### 料理旅館 すし米

料理旅館  
TEL: 075-852-0032  
MAIL: sushiyone@docomo.ne.jp  
HP: sushiyone.net  
京都市右京区京北山崎町中ヶ字15-2

### 京北の子育て

京北の人たちは素朴であったり、かく人柄の良い人が多いです。移住者の方など、地域外の人に對する受け入れ態勢も整っています。自然豊かな環境で子どもを育てることはすばらしいし、ママ友とつながることは素晴らしいし、ここで育つ子どもたちは素晴らしいです。私は京北に住んで子育てができたこと、ここでつながることのできた人たちとも良い関係を築けたこともあり、今でも幸せです。



# 東工務店 一級建築士事務所

200年先を見据えて古民家を改修

## 東昇平さん



経営理念は「こころ伝わる家づくり」

### 職人としての技

「古民家改修といえば東工務店」と言ってもらえるような工務店を目指して仕事をしています。

大工職人なら、大工だけに専念するのが一般的かもしれませんが、しかし、僕が修行をしていた親方の考え方が、大工だけでなく左官もタイイルもその他の工種も「家」に関わるすべてを一緒に考えるというものだったので、自分も大工職人の仕事だけではなく、設計や現場監督もやっています。その分、一人でやれることには限界はありますが、家づくりのすべてを自分で

行うことによって、仕事に創造性が生まれてくるものだと思います。

僕は家の価値は値段で決まるものではないと思っています。

だからこそ、自分の「職人としての技」を価値として認めていただけるような仕事をしたいたいと考えています。言われたまま仕事をするのはなく、施工者のライフスタイルに合った家を形にして提案しています。また、仕事の際は、常にお客様に仕事をさせてもらっているという気持ちを持たず、「礼儀」と「現場の綺麗さ」を大切にしています。

### 技術を伝える家

京北には大工職人の見本になるような良い家が多いです。そんな古民家の改修をしたときに、施工者に前の大工さんより良い仕事をしたとわかってもらえることがこの仕事をしていて一番嬉しいことです。良い仕事を遂げて自分の職人技を誰かに伝えたいし、直接指導する形ではなくとも、自分がやった現場を次の世代の人が見本にしてもらえるような、そんな技術の伝え方

ができればと思っています。

ドイツのことわざに「古い建物のないまちは、悪い田のない人生と同じだ」といういい言葉があります。200年前の大工は既にこの世にいないでも建てた家が残っていて、また200年後も自分たちはこの世にいないけれど家が残っていて、という歴史が積み重なるような地域に京北がなっていければいいと思っています。

### 京北の大工屋に

京北には、京都府立北桑田高等学校があります。全国でも珍しい「森林リサーチ科」というコースがある北桑田高校は、京北の象徴になっています。僕は、そ

の「森林リサーチ科」の第一期生です。高校生の頃から、木工技術の「奥が深い」と先生方に認められていたこともあり、今の大工の道に進みました。卒業後に進んだ大学も修行先も京北ではありませんでしたが、改めて京北に戻ってきて、今の自然豊かな環境が素晴らしいです。だから、自分の会社も「京北の大工屋」として、最終的には地域全体が良くなるような、そんな会社のブランディングをしています。

「森が深い」と先生方に認められていたこともあり、今の大工の道に進みました。卒業後に進んだ大学も修行先も京北ではありませんでしたが、改めて京北に戻ってきて、今の自然豊かな環境が素晴らしいです。だから、自分の会社も「京北の大工屋」として、最終的には地域全体が良くなるような、そんな会社のブランディングをしています。



良い家が残れば、  
次の世代に技術が伝わっていく。  
ここが歴史が積み重なっていく  
ような地域になってほしい。



### 東工務店 一級建築士事務所

設計、新築、リフォーム、古民家改修  
TEL&FAX: 075-853-0168  
MAIL: sumitsubo.com@gmail.com  
HP: sumitsubo.jp  
京都市右京区京北比叡町1-1-83





# 小倉銘木店

効率化を図り、磨き丸太と素材原木を生産

## 小倉一記さん

### 家業を継ぎきつかけ

祖父が「小倉木材」として創業して以来30年程が経ちます。銘木業が好調な時代に「銘木店」として名称変更してから私は3代目ですが、現在は父が代表で事業をしています。当社では現在、北山磨き丸太の生産、製造、販売と一般素材原木の伐採から搬出までを行っています。常々山主さんと信頼関係を構築し、良質な丸太や素材原木を調達することを念頭においています。



長い年月をかけて大切に育てられた北山杉

大学の卒業式の2日後に祖父が亡くなり、家業について真剣に考えるようになりました。祖父

父の葬儀の折、たくさんの方にご参理いただき、どんな世界だろうと興味が高まりました。そして、家業を継ぐために林業の世界に入りました。朝は7時半に工場に行き、従業員全員が揃う8時に、その日の現場の割り振りや作業の打ち合わせをし、その後それぞれが現場へ行き、私も含め夕方まで現場の山で作業をしています。

### 全体での価値を見る

24歳のころ、京都府林業大学校のトレーニングコースに参加しました。そこでいくつかの資格を取得できたことや、知り合った方と今でもつながりがあることなど、このときの経験が自分の財産になっています。京北には同業の方がたくさんおられるので、その中で自分を高めたいことができました。また、京北の山主さんの木に対する思いや知識のレベルが高いことも実感します。

私は仕事をするとき、現場を見て「一本一本の木の価値よりも、その現場全体での価値を考えます。今は良い木であっても値が安いという目を向けた



## 小倉銘木店

北山磨き丸太の製造、販売  
一般素材原木の伐採から搬出まで  
TEL: 075-852-0360  
FAX: 075-852-0447  
京都市右京区京北御野町下千生境内6-1



# 米嶋銘木

磨き丸太の新たな可能性を模索

## 米嶋貴生さん

### 家業を継ぎきつかけ

中学、高校時代はマンガや絵を書くことが好きで、そういう仕事がしたいと思っていました。そのときは家業を継ぐ気は全くなかったのですが、大学時代、就職活動で将来を考えた時に、家業である銘木業を継ぐことが選択肢の一つになりました。当時は岡山市に住んでいたのですが、ある時、縁がないことに気づき、山が遠しくなりました。そのとき自分は山が好きなのだ改めて実感し、家業を継ぎたいと考えようになりました。大学卒業後は、京都府林業大学校に入学し、2年間山の



傷などを付けないよう、丁寧に丸太を扱う

### 磨き丸太を作る

磨き丸太は、木を削った後、水分を放くために1か月ほど山に置いておき、その木を傷つけないよう大切に柄に貼りで運び出します。少しは水分が抜けていますが、それでもまだまだズシツとして重たいです。運び出した木は水圧で磨きます。すべての作業を丁寧にやることを、親方から常に言われます。トラクタに積み込むときも、丁寧に運んで、一列並べたらゴザを敷いて傷がつかないように取扱うのですが、このときはひとりで磨きを使います。このように、木を育てるだけでなく、木を切った後も、運んで、磨いて、愛情を注いで作り上げるのが、磨き丸太です。

自分の家に山があり、今は杉ばかりが植わっているのです



## 米嶋銘木

北山磨き丸太の生産、製造、販売  
TEL&FAX: 075-852-0326  
HP: yonajima.net  
京都市右京区京北御野町上北9

が、今後はいろいろなことを試してみたいと思っています。例えば、こぶしや椿などの広葉樹を植林し、育てたいと考えています。杉だけでなく他にもいろんな木の床柱があってもいいのではないかと、広葉樹がまつぐ育つのかなど、興味はつきません。一方で、先人が京北を北山杉の産地にしたこともあり、北山杉を継承して放つていきたいとの思いもあります。

### 磨き丸太と茶道

磨き丸太の仕事に就いて、磨き丸太がどのように使われているのだろうと気になり、茶道を習うようになりました。磨きの時間は横にとって「学びあり」

### 余野の良さ

僕は、自分が住んでいる余野が大好きです。周りには全て山で、それを見ると気持ちよく安らぐし、とても心が癒やされています。山に入った時の空気が匂い、眺めも最高です。京北の中心から離れた小さな村というのにもなにか居心地が良く、そんなことも余野が好き理由です。僕が感じている、余野の暮らしの居心地の良さを共感してもらえたら、ぜひ来てほしい。

### 段取りの大切さ

どうすれば全員の仕事を効率よく進められるかを第一に考え、できるだけたくさんの方が出せる段取りを組むように心掛けています。ひとりひとりの仕事がいかにスムーズに作業を調整し、従業員の皆さんと相りなく木が出せたときは、仕事の面白さを感じます。従業員はみな職人気質で胸の立つ方ばかりです。ときには作業の優先順位や手順がそれぞれ違うと

### 京北は「住めたら都」

「住めば都」ではなく「住めたら都」。京北は「これが良い、ここはちょっと」という風に言葉にできないことがたくさんあります。だから興味があれば試してみたい、個性が合えばおそろくずつと合うだろうと思います。だからこそ「住めたら都」なのです。



## 仲井亮文さん

### 木のものづくり



電気工事のノウハウを活かしてオリジナルの照明を発売

今から8年前、山の健全な環境保全のための「木の町づくり協議会」のメンバーになりました。これをきっかけに、「木」を自分の仕事に活かさないかと考え、電気工事士特有のアイデアやノウハウ、以前からの趣味・興業を兼ねて、商品開発をする事にしました。そして、ある工務店さんの仕事をさせてもらったときに、電気工事と木工を融合させたオリジナルの照明器具「ささる照明」を設計製作ののち設置してもらったことが、木工の仕事がスタートしました。現在、「ささ

る照明」は特許出願中で、本格的に電気屋さんの木工として事業の柱に成長しています。イメージを形にする  
木工の仕事始めてわかったことは、良いものを届けることは当たり前のこと。お客様から、お届けたものの詳細は何も言われないのが普通です。お客様からのお声は、次の仕事をいただいた時に初めてわかります。それがやりがいにつながっています。そんな中、お客様から頼めて知り納期で仕事をいただくことがあります。お客様がイメージされているものを、忠実に形にして提供するためには発想力が必須で、納期が短いと苦しい部分があります。しかし、発想することなく、お客様との打ち合わせとサンプル作りをします。大変ですが、そこが自分の取り柄だと思っていて、いつも他人にプレッシャーをあげるような心遣いでサンプルを作っています。



仲井電気工事商会  
～木エブランド「DMYGND」～  
電気設備工事、上下水道工事、木工  
TEL: 075-852-0493  
MAIL: inazuma23923@gmail.com  
京都市右京区北山新町松ヶ下1-2

## 人見真一朗さん

### 石を組み、積み上げる



伝統の技を守りつつも、挑戦する心を大切にしている

人見石工は、石を積み上げることを専門とする石工業者です。志は昔からのものづくりを見るのも好きで、自然と家業である石工の仕事に就きました。石工職人は年々少なくなっていて、困っておられるお客様があったときには、紹介で仕事をいただくことも多いです。私は5代目となりますが、先代から「石を組み、積み上げる」という技術を受け継ぎ、昔と変わらぬ技法でものづくりに取り組みんでいます。また現在、先代からの技法を取り入れながら新しい積み方にも挑戦してい

ます。今よりも一層磨きかけ長いものに仕上げられるために日々努力をしています。石積みにはやっつけはいけません。積み方というのがあります。我々には、そのやっつけはいいけない積み方について十分理解して「石を組み、積み上げる」技術を先代から受け継いでいるため、安全面においてお客様に自信を持って提供できます。石積みは見た目も大事ですが、まずは安全が第一で、耐久性や安定性なくして石垣は崩れないほどです。一度崩れれば手戻りが必要で、強度的にも優れていますし、排水処理をすれば防水性にも優れています。

### 石積みの魅力



### 人見石工

一般石工、造園石積、玉石積、設計、施工  
TEL: 075-652-0687  
MAIL: hitomi-shiku@ougn.plala.or.jp  
HP: hitomi-shiku.com  
京都市右京区北山新町高の森2-9-2 合株

もの仕上げます。完成後、お客様が前より良くなったと大変喜ばれるのですが、そんな時にやりがいを感じます。一方で施工後に「適当に積んでくれたらいい」と言われるのが一番つらいです。「適当」がどの程度なのかは人それぞれですから、現場でのコミュニケーションを大事にして、施工者の「適当」を知る必要があります。また、完成した石垣は我々の作品で、作品が言葉で表現されることを目指していますので、そこはとことん話をします。施工後に納得していただき、なおかつ期待以上の仕事をするよう心がけています。

異業種との交流  
最近では、京北で仕事をする異業種の仲間と集まって定期的に勉強会を開催しています。経営の考え方が知れるので、モチベーションの維持にもつながっています。  
京北暮らしをサポート  
移住されるなら京北でも視野、しかも長野においでください。特に若い方！しっかりと地域になじめるよう自分が田舎暮らしをサポートします。  
職人を雇いたいという人がいらっしやったら、修行にきていただくことも歓迎いたします。

「ふるさと」の意識  
京北では家族とふれあいが仕事ができ、もちろん周囲への気遣いは不可欠ですが、仕事をやる時間や音に興しても都会

にはない寛大さがあります。京北に戻ってからは、何となく生きていくということがなくなり、今までの環境を子どもたちにどう残していくか、常に考えているからです。都市部にいたころと比べると「ふるさと」をとても意識しますし、様々な事柄を後世に伝えるということも考えられます。そのせいか、子どもに対する気心も強くなっていると感じます。子どもたちの「ふるさと」である京北の豊かな環境を後世に伝えていくことが、親としての務めであると考えています。





# 中道自動車修理工場

“車にとって”一番良いサービスを提供

## 中道知圭さん



人との関係性を大切にしている

### 時代に合った事業

短期大学で自動車整備について学んだ後、神戸のディーラーでメカ4年、営業1年の修行をし、家業である中道自動車修理工場へリターンで就職しました。「家業を継ぐ」これは僕にとって当たり前のことで、疑問に思うこともありませんでした。

経営については、事業の継続を第一に考え、事業内容は時代に合った形に変わっていてもよいと思っています。父親の代は昔ながらの修理工場といったイメージで事業をしていましたが、僕は修理工場の工場ではなく



# 大下瓦店

感覚に裏打ちされた確かな瓦葺き技術

## 大下孝広さん



見えないところに職人の技術が生きている

### 職人の感覚

京北山間地域で瓦葺きをしています。日本三大瓦の一つ「三州瓦」の産地である愛知県刈谷市で修行をした後、家業を継ぐため、京北にリターンで帰ってきました。

修行時代は、職人気質そのものという父親の方針ながらも師弟関係で育ててもらいました。おかげで仕事の段取りができるようになり、根性もかなり鍛えられたと思います。

また、職人というものは、知識があっても時間をかければ誰でもできることも、時間をかけずに感覚で仕上げるのが大切だ

### 仕事で大切なこと

仕事をお願いしたくというお客様は、お金の大切なお金をお代としていただくことです。そのため、仕事の質はもちろんです。人としても常にお客様に信用していただけるよう心掛けています。自分という人間を知っていたくため、仕事に入る前は、お客様としっかりとコミュニケーションを取るようになっています。また、日々の暮らしよりから、人柄は見えて取れるものではないので、例えば現場の役を引き受けるなど、仕事に直接関係ないように思えることでも、積極的に取り組んでいます。

### 見えない気づかい

修業中に阪神・淡路大震災が起これ、施工方法が従来の土葺きから引き掛け機葺きに移行さ

### 丁寧な説明が信頼に

僕は仕事をやるうえで、お客様への説明を特に大切にしています。利益を第一に考えず、販売や急な修理などに丁寧に対応すること、何からでも今後につながる関係性を築きたいと考えます。車のことでなにかあれば僕の顔を思い浮かべてほしいと思っています。丁寧に説明をしています。車の修理に始まり、すべてのサービスが良くなって当たり前。前の仕事のため、車の状態が良くなることにプラスαを付加することを常に考えます。お客様には、満足して喜んで帰ってほしいです。

京北地域は年配の方が多く、一度聞いた情報関係は強い

れました。その両方の施工方法を経験したことで、屋根や環境に合わせて臨機応変に対応できるようにになりました。最近は大工だけでなく金属系やセメント系の屋根材も施工しています。屋根の性能（防水・耐風圧・耐震・耐久・耐衝撃・防火など）を基本として施工を行います。自然が相手の仕事なので細かいところまで気を使う必要があります。特に防水性能については、水の動きを考えた屋根材の取まりを考え、そして漏水の可能性があるところに二重三重の防水加工を施しています。見えない部分の施工ですがここに注意を払うことでお客様への信頼を得ることができると



## 大下瓦店

原根ふき、かわらぶき  
TEL: 075-653-0331  
MAIL: kawaraya0361@gmail.com  
京都市右京区京北埴田郷蔵前38-1

思っています。そういう点で苦労はありますが、職人後に「さすがやなあ」と言っていただけなのにやってみると「あ、いい感じだね」という気持ちになります。

### 京北のコミュニティ

私が住んでいる山間地域は、住民同士の間で意識疎遠がしやすく団結力があり、コミュニティを大事にしている地域です。リターンの方たちも一緒に地域行事をやっているんです。大自然に囲まれて住み心地が良いし、若い人も京北の特産です。都会暮らしと比べるといい感じがあると思います。その違和感を求めに来たけど、めっちゃ楽しいです。

### 京北の人の距離感

学生時代、修行時代と神戸にいましたが、京北での暮らしと比べて特に違いは感じません。京北の高校生たちは見知らぬ人にも挨拶するなど、人間性がいいし、人と人との距離感が近く人間関係が濃いんです。だいたいの人が知り合いだったりもしています。

もし京北へ移住を考えている人がいたら、ぜひ一度、車のことなら僕に相談してください。笑、そして、いつか一緒に住んでみて、と言いたいです。京北はおもしろいし、子育てには良い環境です。



## 中道自動車

自動車整備  
TEL&FAX: 075-652-0336  
京都市右京区京北山間町上太田25-7



## 🏠 掲載事業所一覧

01	あらい農園	京都市右京区京北上黒田町吉野110-3	TEL:090-1157-2764
02	tint	お問合せはメールにてご連絡ください	MAIL:kimuchi.to.minchi@gmail.com
03	四辻木材	京都市右京区京北上弓削町上ノ町15	TEL:080-2500-5409
04	京北すえひろ	京都市右京区京北上弓削町段上ノ下16	TEL:075-854-0113
05	(株)村山木工	京都市右京区京北比賀江町亀ノ甲20	TEL:075-853-0481
06	山の家具工房	京都市右京区京北塔町宮ノ前58	TEL:075-853-7039
07	狭間鉄工	京都市右京区京北下弓削町狭間谷1-51	MAIL:spaceironworks@gmail.com
08	Bagworm	京都市右京区京北下弓削町狭間谷1-51	MAIL:mayu@bagworm.net
09	マエダ木工	京都市右京区京北塔町三明谷40	TEL:080-3743-1439
10	ギャラリーYU	京都市右京区京北下熊田町妙見谷1-1	TEL:075-852-0309
11	green tail	京都市右京区京北宇野町広野5番地	TEL:075-852-1535
12	(株)K・Kファーム	京都市右京区京北熊田町新田50	TEL:075-852-1668
13	農家民宿 Banja	京都市右京区京北下熊田町杉ノ谷31	TEL:075-855-1700
14	料理旅館 すし米	京都市右京区京北周山町中ケ市15-2	TEL:075-852-0032
15	塩治軒	京都市右京区京北上中町九免状16-3	TEL:075-854-1800
16	東工務店	京都市右京区京北社町狭間ノ元83	TEL:075-853-0168
17	米嶋銘木	京都市右京区京北細野町上北9	TEL:075-852-0326
18	小倉銘木店	京都市右京区京北細野町下壬生堀内8-1	TEL:075-852-0360
19	人見石工	京都市右京区京北細野町風ヶ鼻9-9乙合地	TEL:075-852-0887
20	仲井電気工事商会	京都市右京区京北熊田町松ヶ下17-2	TEL:075-852-0493
21	大下瓦店	京都府京都市右京区京北塔町郷藏前30-1	TEL:075-853-0331
22	中道自動車	京都市右京区京北周山町上太田25-7	TEL:075-852-0336

## 🏠 移住・暮らしに関する相談窓口

### 北部山間移住相談コーナー

北部山間地域への移住相談の拠点となる「北部山間移住相談コーナー」を京北出張所内に開設し、京都市移住サポートセンター「住むなら京都(みやこ)」とも連携しながら、移住希望者からの相談対応や地域の情報発信に取り組んでいます。まずは、気軽にお問い合わせください。

- 電話:075-852-1828(FAX兼用)
- メールアドレス:kyoto-hokubu@city.kyoto.lg.jp
- 時間:月曜日・水曜日・金曜日・日曜日(祝日・年末年始等除く)  
※日曜日は事前予約制(現地案内のみ)  
午前10時～正午・午後1時～午後4時
- 窓口:京北出張所内(京都市右京区京北周山町上寺田1-1)  
JR京都駅から西日本JRバス(高尾・京北線)「周山行き」  
「京北合同庁舎前」下車



### 情報サイト「住むなら京都(みやこ)」～京の田舎暮らし～

京都市北部山間地域は、美しい自然に恵まれ、すばらしい文化や伝統、温かな人の絆が息づく、魅力あふれる地域です。京都で田舎暮らしをお考えの方へ地域の魅力や情報をご紹介します。



## 🏠 経営・創業のご相談

### 京北商工会

行きます。聞きます。提案します。京北商工会は小規模事業者様の経営を応援します。創業・起業、経営革新、経営管理(金融・税務・労務等)、販路拡大、事業承継、農工商連携等、お気軽にご相談ください。

- 電話:075-852-0348
- メールアドレス:keishoko@skyblue.ocn.ne.jp
- ホームページ:keihoku.sakura.ne.jp
- 時間:月曜日から金曜日(祝日・年末年始除く)  
午前9時～午後5時
- 窓口:京都市右京区京北周山町上寺田1-1

